

東京ふれあいマラソン

'98神宮外苑

12月20日(日)開催

ロードレース

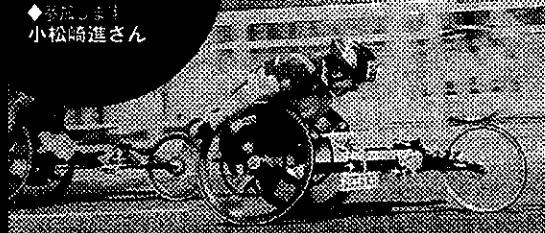
障害者・健常者がともに走る「神宮外苑ロードレース」に、初回から車椅子で参加している小松崎進さん(46歳・茨城県)。「初回は6位。去年は途中まで3位だったのに、スピード出しすぎてカーブが曲がりきれず、コケて車椅子が壊れ棄権せざるを得なかった」と悔しそう。

長く続けていた車椅子バスケットをやめ、「個人の努力がそのまま結果に出る」マラソンをはじめて8年。「マラソン用の車椅子は、より軽い材

いっしょに走る・みんなで走る Vol.3

『ことしはコケない!』

◆お話を伺った
小松崎進さん



質へ、よりスピードの出る形へと年々改良されてきている。マシンに左右される部分も大きい」とはいえ、上り坂を上るのも、下り坂でスピードをコントロールするのも、すべて腕と肩の力が頼り。だから平日は仕事の昼休みを利用して30分、日曜日は競技場などで走り込みを欠かさない毎日。現在、車椅子フルマラソンでの世界記録は1時間20分前半。小松崎さんの自己ベストは1時間54分。「今度はずっと落ち着いて、20km50分台を目指します」。

当日は午前9時15分から、国立代々木競技場を時差スタート。ランナートは神宮外苑周囲コースをまわって再び競技場のゴールをめします。持さんの熱い声援をお願いします。●お問い合わせ／神宮外苑ロードレース実行委員会事務局 TEL 03(3503)4855



日本財団
The Nippon Foundation

日本財団は、競艇の
売上の3.3%をうけ
て活動しています